

資料提供	
平成27年3月10日	
担当課 (担当者)	公益財団法人鳥取県産業振興機構 バイオフィロンティア推進室 (片寄・嵩原)
電話	(バイオフィロンティア推進室) 0859-37-5131

## 株式会社ケー・エー・シー「鳥取-セルラボラトリー」の開設が決定

鳥取大学の染色体工学技術等を核にバイオ産業の集積を目指しているとっとりバイオフィロンティアに、動物飼育管理業界大手の株式会社ケー・エー・シー（代表取締役社長北村 典、本社：京都市）の入居が決定いたしました。

同社は、バイオ研究支援として、実験動物飼育管理、受託試験、研究用試薬提供、研究・技術者派遣などの総合的な事業展開を行っています。

今回は、同社試薬事業部と鳥取大学染色体工学研究センター 多田政子教授との共同研究開発による研究用細胞の製品化等を目的として、新たに「鳥取-セルラボラトリー」をとっとりバイオフィロンティア内に設けるものです。

### 記

#### 1 「鳥取-セルラボラトリー」概要

- ・入居場所 とっとりバイオフィロンティア 3F 実験室 38.67 m<sup>2</sup>  
(米子市西町8番地 鳥取大学米子キャンパス内)
- ・入居開始 平成27年4月1日
- ・事業概要 ○鳥取大学染色体工学技術をベースとした研究用細胞の製品化  
○海外提携先企業の国内市場等向け研究用細胞の製品化 等

#### 2 事業計画

- ・製品化予定品目 ①「ヒト肝セルライン HepaRG (ヘパアールジー) 誘導体細胞」  
Biopredic International (バイオペレディックインターナショナル社/フランス) の HepaRG (ヘパアールジー) 細胞に鳥取大学の染色体工学技術を応用して製品化  
②海外提携先企業の研究用細胞  
「Predicell (プレディセル) 細胞キットシリーズ」等  
SOLVO Biotechnology (ソルボバイオテクノロジー社/ハンガリー)

\*各細胞の説明は参考に記載しています。

- ・従業員数 当初2名で事業を開始。

### 3 会社概要

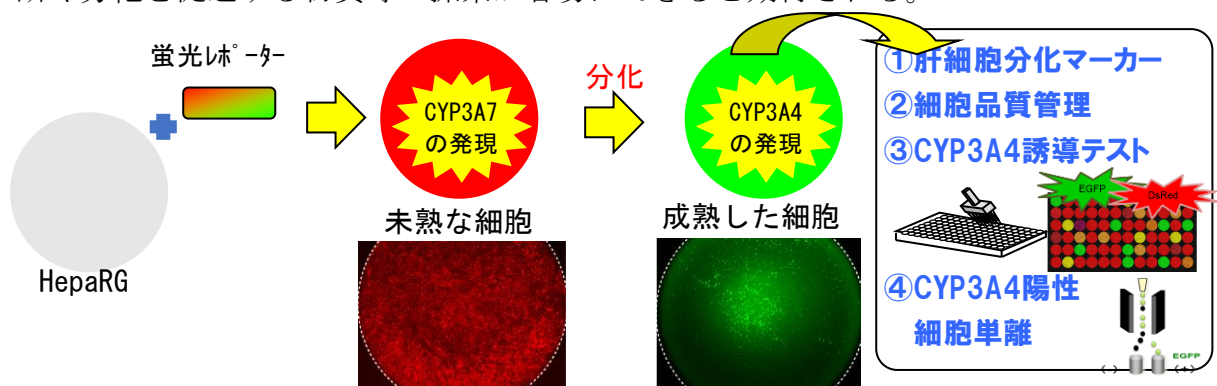
- ・商号 株式会社ケー・エー・シー
- ・設立 1978年11月1日
- ・資本金 3,562万5,000円
- ・主要株主 サントリービジネスエキスパート株式会社、第一三共株式会社、大日本住友製薬株式会社、日本クレア株式会社、日本新薬株式会社
- ・代表者 代表取締役社長 北村 典（きたむら さとる）
- ・従業員数 700名（2015年1月現在）うち約600名は研究・技術者として製薬企業等へ派遣
- ・拠点 京都本社（京都市中京区）、東京支社（東京都台東区）、生物科学センター（滋賀県栗東市）
- ・組織 アニマルケア事業本部、バイオサイエンス事業部、試薬事業部、技術研修所、iPS細胞事業室、GE動物事業室

#### (参考)

##### ①ヒト肝セルライン HepaRG（ヘパアールジー）誘導体細胞

HepaRG（製品名：ヘパアールジー）は、フランス国立衛生医学研究所で開発・樹立され、肝細胞研究に豊富な実績を持つ Biopredic International（バイオペレディックインターナショナル社/フランス）がライセンスを保有するヒトの肝臓の腫瘍から取り出した細胞。ヒト肝細胞の各機能を保持、発現しており、ヒトの肝臓のモデル細胞として、代謝・酵素誘導・細胞毒性試験およびB型肝炎ウイルス感染の研究等に広く利用されている。

今回、鳥取大学染色体工学研究センター 多田政子教授との共同研究により、HepaRG（ヘパアールジー）に、未熟な細胞で発現する代謝酵素 CYP3A7（シップ・スリー・エー・セブン）に赤色、分化した成熟細胞で発現する代謝酵素 CYP3A4（シップ・スリー・エー・フォー）に緑色の蛍光レポーターを導入することに成功。これにより、従来、経験を有する研究者が細胞の形状等から判断をしていた細胞の成熟の程度を色の変化で識別できるようになり、経験のない者でも研究に適した成熟細胞の判断や分化を促進する物質等の探索が容易にできると期待される。



##### ②Predicell（プレディセル）細胞キットシリーズ

この製品は、薬物トランスポーターの研究、開発、生産で世界最大の規模を誇る SOLVO Biotechnology（ソルボバイオテクノロジー社/ハンガリー）の、取り込み型薬物トランスポーターを発現させた各種株化細胞を予めプレートに播種した ready-to-use キットであり、薬物と取り込み型トランスポーターとの相互作用の確認に使用される。